

留学生の日本語学習動機と学習における問題

—札幌国際大学でのインタビューを中心に—

クラス：應日四A

氏名：葉博宇

指導教員：堀高志

要旨

グローバル化時代に、世界中でも立ち回れるように、留学は一つの選択肢とされている。留学生は留学を通じて、社会経験、言語の習得、異文化理解などから成長し、「グローバル人材」となる。留学の意義は人によって相違があるが、多面から見ると、自己成長が最も重要だと思われる。

今の時代では、留学生の人数は増えている一方、留学生に貴重だというイメージが、仕事へのアドバンテージなどが段々少なくなってきたように思われる。

留学の目的

- ①言語の習得
- ②国の雰囲気を感じる

留学の難点

- ①外国語を使うのに自信がない
- ②海外生活に慣れるのに時間がかかる

留学のメリット

- ①海外でのキャリアが就職にアドバンテージがある
- ②自立性を高める
- ③国際的視野を高める

留学に対する感想

- ①将来にメリットがある
- ②何かを達成し、自分が納得できる結果を得ればいい

参考資料

池田庸子『海外留学の意義とメリットを考える—海外留学によって何が得られるか—』ウェブマガジン『留学交流』2011年7月号 Vol.4

黄捷琳『グローバルな時代における生き方』東京大学 2013年
留学生支援情報-JASSO - 日本学生支援機構

研究方法

本論文では、筆者の留学経験を含め、そして日本人と中国人留学生とのインタビューをし、それを分析して行きたいと思う。

インタビュー対象

- 日本人教師一名
- 中国人留学生二名

問 14.留学した人は留学していない人より有利な点は何だと思えますか？

I氏：どんな成果を自分で自覚するか、それが大事なのかな。自分が考えている物の見方とは違う者に触れて、悩んだ人のほうが手に入れた物が大きいかもしれない。

結論

留学した上で、将来に理想的な仕事を見つけられる保障が一切ないものの、人は人に留学することを促進する。その理由について、筆者は「経験は他人の口から得られない、自らしないと意味がない」と言うことだと思う。グローバル人材になるかどうかは関係なく、個人の心境の成長が、留学の真の価値だと思われる。